

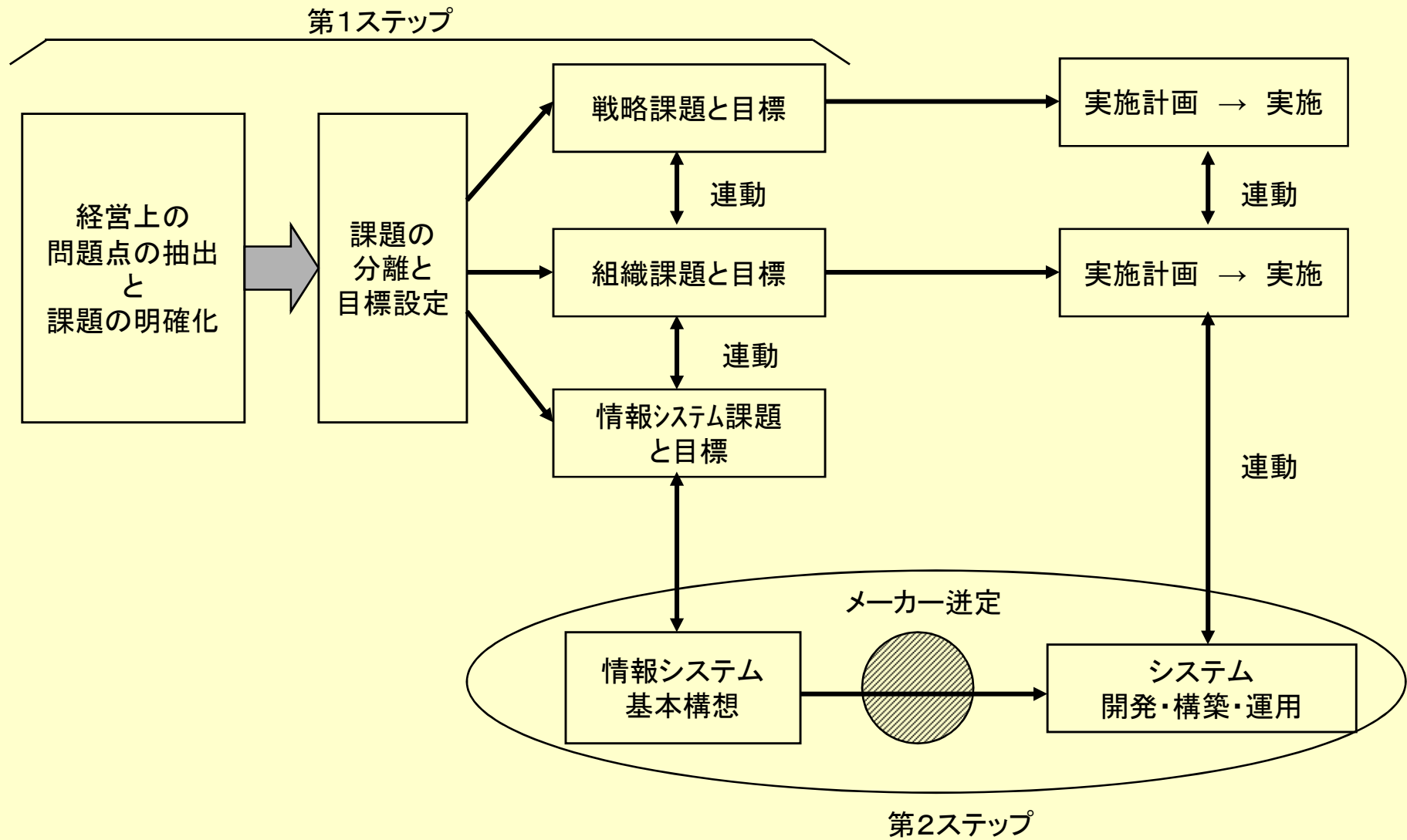
# 会社の経営課題から情報システム構築への流れ

株式会社 アイカ

情報サービスカンパニー

**ai-ka**

# 会社の経営課題から情報システム構築への流れ



# 第1ステップ 「課題と目標の明確化」の成果物事例①

(経営レベルに於ける問題点→課題→対策のサンプル)

(問題点と現象)	(課題と対策)
<p>ベクトルの不統一 企業ビジョン、戦略が不明確 現場での判断基準が不統一</p>	<p>企業ビジョン 経営戦略の 明確化</p>
<p>コントロール力が弱体 管理者の意識が弱い (特に下部ほど急速に弱まる) マネジメント力が弱い</p>	<p>意識改革 コントロール力 の強化</p> <p>①コミュニケーション・パイプの強化 (週間管理の浸透、支社長会議、マネジャー会議の定例化等) ②コントロールシステムの強化 (コントローラ制度の確立、管理会計システムの構築)</p>
<p>生産性が低い</p> <p>業務区分が不明確 (達成目標が不明確 …現場レベル、支社レベル)</p> <p>人材の能力不足 マネジャー、チーフの能力不足 支社長の能力不足</p> <p>固定的な要員構成 業務社員の雇用契約が固定的 ローテーションできる環境がない (業務社員の意識) パート活用の体制が弱い 事業構造の低生産性 付随事業の非効率 等</p>	<p>組織力強化</p> <p>①組織の役割の明確化(マネジャー、支社長) ②業務改善組織力の強化 (受託内容の明確化、業務マニュアルの作成、業務見直し等) ③人材育成力強化 (目標管理制度運用方法の見直し) (キャリアプラン、教育体系の構築、評価制度の見直し)</p> <p>構造改革</p> <p>①契約方式の改善 (範囲外業務の取り扱い、業務量(数)変動への対応等) ②業務社員雇用契約の見直し (勤務時間の柔軟性、業務間ローテーション等) ③パート社員戦力化能力強化(選任トレーナー制度等) ④既存事業の見直しと新規事業の展開</p>

# 第1ステップ 「課題と目標の明確化」の成果物事例②

(課題実施の為に「フェーズ(ステップ)分け」と各フェーズの「戦略/組織/情報システムへの分解」のサンプル)

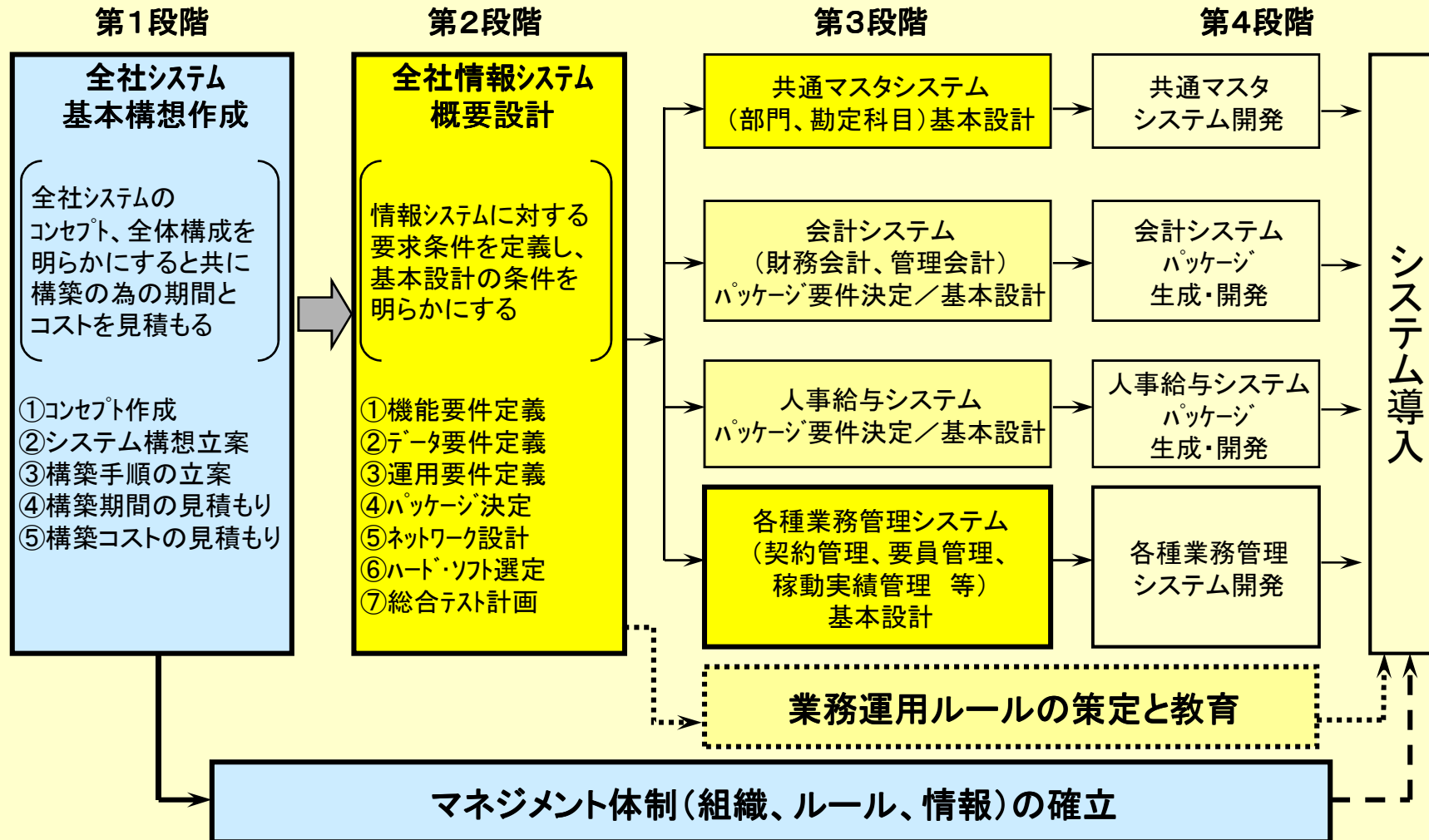
## 戦略の基本フェーズと経営課題(案)

	ビジョンの掲揚	I. 意識改革/コントロール力強化	II. 組織力強化	III. 構造改革
経営成果の内容	ペクトルの統一	意識変化による業績改善 精神力(マネジメント力)による業績維持	精神力(マネジメント力)による業績維持 業務効率改善による生産性向上	組織の体質変化による生産性向上 事業構造改革による経営効率の改善
達成目標		荒利率の×%向上(現状比)	荒利率の×%向上(現状比)	営業利益率×%達成
実現時期		200×/×	200×/×	200×/×
戦略課題		コミュニケーション機能の強化 (週間管理の定着) コントロール機能の強化 (コントローラー機能の設置と強化)	組織機能の明確化 (役割機能の明確化) (業務遂行基準の明確化) 業務改善機能の強化	組織改革 (ビジネス構造の変革) (要員構成の変革)
組織課題		業績検討会議の設置と定着 マネジャー会議の設置と定着 コントローラー職位の設置 支社長・マネジャーのコントロール能力強化	支社長職位の責任の明確化 マネジャー職位の責任の明確化 業務改善スタッフの強化 キャリアプラン、評価制度、教育制度	事業のスクラップ&ビルト* (既存事業の一部廃棄) (新事業の展開) 雇用条件とパート率の変革 (雇用契約の変革) (要員トレーニング機能の制度化)
情報システム課題		週間管理/コントロール機能支援 (管理会計システムの整備) (稼動管理システムの整備)	業務効率向上支援 (稼動管理システムの強化) (要員DBの確立) (契約DBの確立) (支社、本社OA機能強化)	マーケティング機能支援 (顧客DB機能強化)

	99/下	00/上	00/下	01/上	01/下	02/上	02/下	03/上	03/下
ビジョン掲揚	(準備・導入)	(業績への反映期間)							
I. 意識改革	(準備期間)	(導入期間)		(業績への反映期間)					
II. 組織力強化	(準備期間)			(導入期間)				(業績への反映期間)	
III. 構造改革									

## 第2ステップ 「情報システム基本構想策定」の位置付け

### 全社情報システム構築手順



※第3、4段階のサブシステムの種類は、第1、2段階の結果によって変わることがあります

## 第2ステップ 「情報システム基本構想策定」の作業内容

### 「全社システム基本構想作成」の作業内容

作業項目	目的	作業内容
<b>I. 現状調査</b> 1) 委員会ミーティング 2) 現場観察・ヒヤリング 3) 帳票・データ調査	システム課題の確認  現状業務の把握 課題の問題点の把握  現状の情報システムの内容と 問題点の把握	委員会メンバー、及び事務局とのミーティングを通じて経営課題とシステム課題を確認する。  各現場を視察し、又、管理責任者から業務の現状と課題、及び問題点について話を聞き、現状の業務の全貌を把握する。  各現場の実務担当者から使用されている帳票・データについてヒヤリングを行い、現状の情報処理の内容、及び実務レベルでの課題、問題点を把握する。
<b>II. 業務システム基本構想作成</b> 1) 業務機能定義 2) 情報機能定義	会社システムを構成すべき個別業務を明確化し、各業務機能を定義  各個別業務が果たす情報機能、伝達すべき情報種類の明確化	情報機能を中心に業務の流れを分析し、課題、問題点を解決する為の新しい業務機能関連図を作成する。  業務機能関連図に基づいて各業務に要求される情報機能要件、及び伝達されるべき情報の種類を明らかにし、その内容を定義する。
<b>III. 情報ネットワーク構想立案</b> 1) ネットワーク構想立案 2) 運用体系の立案	業務システム運用の為の情報ネットワーク構想の立案  情報ネットワーク運用の為に各部門が果たすべき責任の明確化	各業務の情報機能の運用に於いてデータ入出力を各拠点に分散すると共に必要な情報を共 全社の連携と情報のスピードを維持する為に必要な情報ネットワーク構想を作成する。  情報ネットワークにおけるデータ入出力業務を中心にその運用要件(場所、担当者、運用の内容、タイミング等)を明らかにする。
<b>IV. ネットワーク構築計画の立案</b> 1) 構築作業計画立案 2) 概算投資額／コスト	情報ネットワーク構築の作業手順の立案と期間の見積もり  構築にかかる概算の投資額とコストの見積もり	各業務の戦略的優先度を勘案しながら、技術的可能性の範囲内で最も効果的な構築作業を立案し、その為に必要な機関を見積もる。  構築計画に沿ってネットワークを構築する為に必要な概算の投資額とコストを明らかにする。

## 第2ステップ 「情報システム基本構想策定」成果物の一つ

「業務管理システム」機能情報関連図

